盆栽育て方マニュアル



atelierハナイカダの盆栽は、作家が一つずつ大切に仕立てています。

植物は、元々の生育地の環境にあうよう姿かたちを進化させ、適応しています。
盆栽を長くお楽しみいただくためには、その植物がどのような環境で育ってきたかを知り、その植物にとって心地よく生育できる空間をつくることが大切です。
ハナイカダでも、植物の様子をよく観察し、時に繊細な植物の声に耳を傾けながら心を込めて育てています。
自然のものなので、絶対枯れないとは申し上げられませんが、長く盆栽をお楽しみいただければと考え、管理マニュアルを作成しました。

日本の山野草を中心とした草木と苔で仕立てています

直射日光を50%遮光した風通しのよい環境で育てています

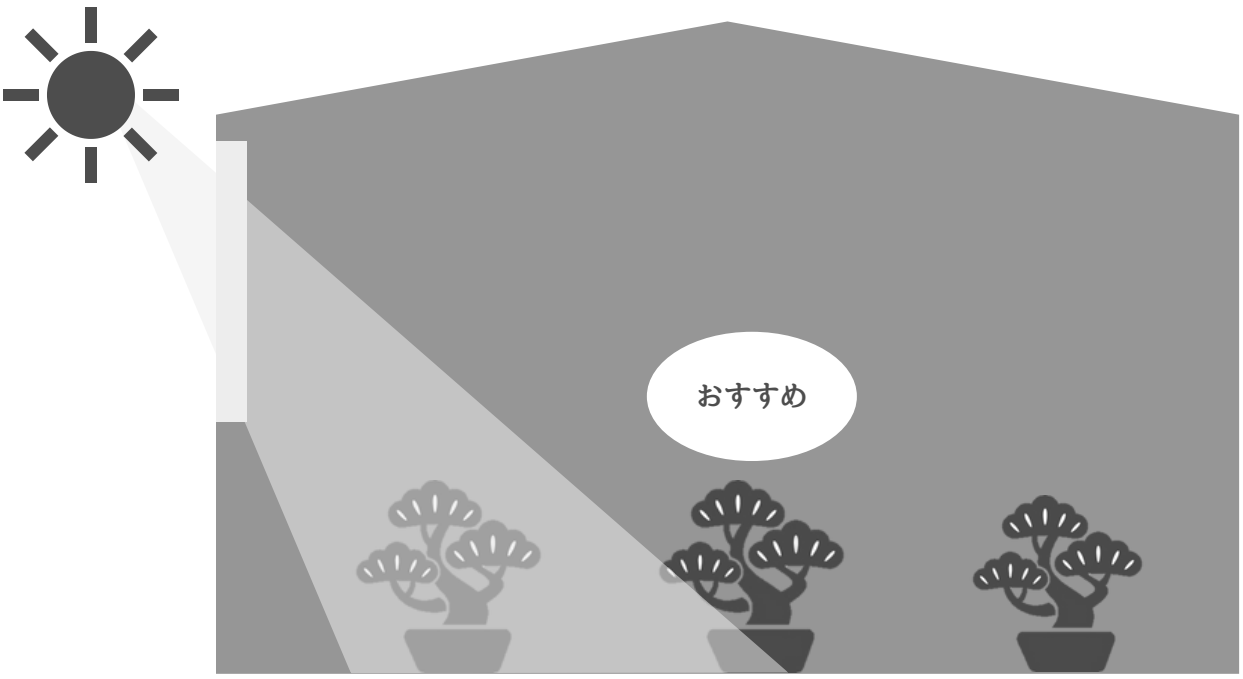
自然下での環境と植物の特性にあわせて土を選定しています

毎日、朝と夕に雨をイメージした水やりをしています



陽当たり/理想の管理場所

直射日光が当たらない、明るく風通しのよい場所がおすすめです。
目安は人が電気をつけずに読書できる程度の明るさ。そういった場所がない場合は、以下の図を参考に管理場所の調整をしてみてください。



場所の特徴	朝から夕方まで、1日中日差しが入る場所（南側の窓際）	朝から正午ごろまで、日差しが入る場所(南側の窓から少し離れた場所～東側の窓際)	窓から遠く、1日中日差しが入らない場所（窓から離れた場所～北側、地下など）
場所ごとの注意	・葉焼けに注意 ・午後の強い日差しや西日はレースカーテン等で遮光する等の工夫が必要		・日光不足に注意 ・2～3日に1度、午前中の柔らかい光をあてる
水やりの頻度	多 → 少		

冷暖房の風が、直接当たる場所にはおかないようご注意ください

季節により、窓から差し込む日光の強さと時間、温度などが大きく変化します。
それに伴い、植物の渇き具合が変わりますので、植物の様子をよく観察いただきながら、最適な管理場所を見つけてあげてください（適した環境でないと植物は次第に萎れ、最終的には枯れてしまう可能性があります）。
管理場所を変える際には、急激な環境変化をしないよう、徐々に光量が違う場所へ移動させてください。

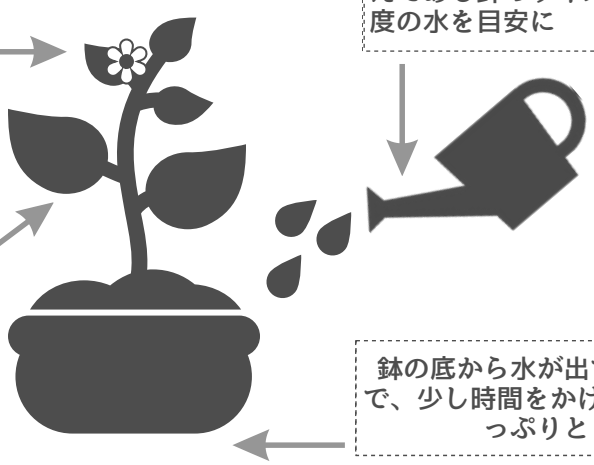
水やり

水やりは鉢底から水が溢れるまでたっぷりと。苔の表面が乾燥し始めたら、水やりのサインです。
水が不足すると植物は枯れてしまいますので、植物のようすに気を配りながら欠かさず水やりをしてください。

いつもの水やり

花が咲いている時は、花弁に水がかからないように

日差しが強い場所に置く場合は、葉に水がかからないように



一度にあげる水の量は、植えてある鉢のサイズと同程度の水を目安に

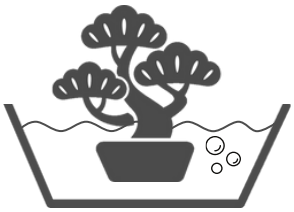
鉢の底から水が出てくるまで、少し時間をかけながらたっぷりと



水やりは、朝・夜の太陽の日差しがあまり強くない時間帯が理想です。
日中に水やりをすると土中の温度が高く蒸れの原因となったり、葉に水がかかると葉焼けの原因になります。

乾燥が気になる場合は

鉢がすっぽり入る容器(バケツや桶など)に水を張り、苔を軽く押さえながら、鉢をまるごと水につけます。
しばらくつけて、鉢から空気の泡が出てきたら水からあげてください。
こうすることで、根全体に水がいきわたり乾燥を防ぐことができます。



水やりの頻度

季節により、植物の状態は変化しています。
樹種や置き場所によっても違いがありますが、以下の表を参考に水やりの頻度を調整してください。

春 芽吹く準備を始める時期			夏（成長期） 活発に活動する時期			秋 落葉の準備を始める時期			冬（休眠期） あまり活動しない時期		
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1日～２日に1回			1日に1回～2回			1日～2日に1回			2日～3日に1回		

長期間水やりが出来ない時は

長期間水やりができない時は、下記を参考に「腰水」をしていただくことをおすすめします。
腰水は、水を張った桶などに鉢ごと浸し、鉢底の穴から水を吸い上げさせる方法です。
腰水をしていただくことにより、水不足による枯れを一時的に防ぐことができます。



長期間腰水をすると、根腐れの原因になります。
腰水を継続することは避けてください。

盆栽と長く付き合うためのお手入れ

お手入れとは、盆栽の数年後の姿を想像しながら、必要な枝や葉を活かし、不要な枝や葉、根を取り除くことです。

植え替え	苔の張り替え	枝の剪定	樹形の矯正
２～3年に１回程度、根の剪定と用土の交換をすると病気になりにくく、健康な状態を保ちやすいです。 鉢底から根が出てきた年の冬がおすすめです。	色が悪くなったり枯れてしまったら、苔の張り替えをおすすめします。 苔の管理が難しい場合は、盆栽用の化粧砂を利用する方法もあります。	育てるうちに枝葉がのび少しずつ大きくなります。 そのままお楽しみいただけますが、剪定により大きさを調整することも可能です。	飾る空間やその場の雰囲気にあわせて、針金を使って枝の流れを変化させたり、盆栽の姿を整えることができます。

ご相談

水のやり方や剪定方法など、困ったときはご相談ください。
無料で専門スタッフが対応させていただきます。

おかしいな？と感じたら―植物でよくみられる症状―

盆栽は日光、温度や湿度、環境の変化がストレスになり、葉にさまざまな症状が現れます。以下を参考に、植物の様子をよく観察しながら、水やりの方法や管理する場所などを調整してみてください。

葉焼け

葉先から付け根に向かって茶色くなり、葉が焦げているような見た目




原因

・葉に水がついた状態で強い日差しを浴びた
・強い日差しに当たり水分が足りない

対処法

・少し窓際から遠ざける等、光の量を減らし調整しながら様子をみる
・茶色くなってしまった葉は緑色に戻らず光合成はできないため、取り除き次の芽が出てくるのを待つ

日光不足

全体的に葉や枝などが垂れ下がり、所々葉が黄色くなっている




原因

置き場所がその植物の特性にあっておらず、光の量が足りない

対処法

すぐに直射日光を当てると葉焼けを起こすため、徐々に光が強い空間に移動しながら様子をみる

水不足

葉や茎などが徐々に垂れ下がりぐったりと萎れていく
葉がカサカサに乾燥し、触れるとすぐに落葉してしまう




原因

・水やり時の水量が足りていない
・水やりの回数が少ない

対処法

たっぷりと水をやり、光が弱い空間に移動しながら様子をみる
苔の色が悪くなった場合は、食品用ラップなどで保湿すると元気になることがある

病害虫（ハダニ等）

・葉がベトベトしたり、赤色や茶色の斑点が現れる
・葉や枝に白い粉がふく




原因

風通しが悪い

対処法

①少し濡らしたティッシュで丁寧に拭き取り様子をみる
②範囲が大きく①で良くならない場合は、薬剤散布による消毒が必要。症状により効く薬が異なるため、症状を観察し適切な薬を散布する

ハナイカダがご提案する
盆栽お手入れサポートメニュー

ハナイカダでは初めての方にも気軽に盆栽を楽しんでいただきたいという想いから、
ご購入いただいた盆栽のお手入れをサポートしています。

お手入れ

植え替えや剪定、樹形の矯正など、各種お手入れを承ります。アトリエへ直接お持ち込みください。

※お店へのご持参が難しい場合は、受け取りに伺うことも可能です。配達には別途交通費を頂戴します。

※ご購入後1週間以内に上部が枯れてしまった場合は、無料で盆栽の交換または返金をしています。

お手入れサポート料金

こちらの料金は、ハナイカダでご購入いただいた盆栽・苔玉のお手入れをサポートするための特別価格です。
他店で購入された盆栽などは、別途お見積りにて承ります。

	極小・小サイズ 鉢の直径が5〜10cm程度	中サイズ 鉢の直径が10〜20cm程度	大サイズ 鉢の直径が20〜30cm程度
枝葉の剪定 樹種により作業可能時期が異なります	500円	1000円	1500円
根の剪定 用土の入替を含みます ※冬季のみ作業可能	2000円	2500円	3000円
苔の張り替え（盆栽）	500円	1000円	1500円
苔の張り替え（苔玉）	1000円	1500円	2000円
植え替え 枯れてしまった場合のみ承ります	植え替える植物の種類によって異なります 詳しくはご相談ください		

※樹形の矯正は、別途お見積もりにて承ります。

atelier　ハナイカダ

〒193-0834
東京都八王子市東浅川町90
Tel:042-699-0828
Email:hanaikada103@gmail.com

※臨時でお休みを頂いている場合もありますので
盆栽をお持ち込みいただく際は、事前に上記までご連絡ください。

